



株主の皆様へ

第151期

中間報告書

平成26年4月 1 日から

平成26年9月30日まで

証券コード4613

関西ペイント株式会社

## 顧客満足度の高い製品及びサービスによって より豊かな社会の実現に貢献します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年4月1日から平成26年9月30日までの当社グループの事業概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期における世界経済は、アメリカ経済の金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の先行き不安、地政学的リスク等が懸念されましたが、緩やかに回復いたしました。わが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの連結業績につきましては、国内は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより建築用塗料の需要低迷等の影響を受け、売上は僅かな増加にとどまりました。一方、原材料価格の高騰等により利益は伸び悩みました。海外は、インドにおいては、国内経済の成長が進展したことにより、塗料需要も増加し、業績拡大が続きました。アジアにおいては、タイで政治的混乱の影響により大きく需要が低迷し、アジア全体での業績を押し下げました。アフリカ及びその他セグメントの地域においては、売上の拡大基調が続きました。また、昨年度に新規連結化したジンバブエ共和国子会社の業績が連結業績に寄与いたしました。これらにより、海外全体での業績は前年を上回りました。

これらの結果、当社グループの当中間期における売上高は

1,650億19百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は139億33百万円(前年同期比1.2%増)、経常利益は167億69百万円(前年同期比0.9%減)、中間純利益は87億46百万円(前年同期比22.9%減)となりました。

中間配当金につきましては、1株につき7円50銭とすることに決定させていただきました。

今後の世界経済の見通しは、緩やかな回復が続くことが期待されます。わが国においては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化などが懸念されますが、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されます。

このような情勢のなか、当社グループは、平成25年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画の重点方針である「グローバル化の加速」、「収益力の向上」及び「グループ経営基盤の強化」を柱として、業績のさらなる向上に向け、事業活動を展開してまいります。

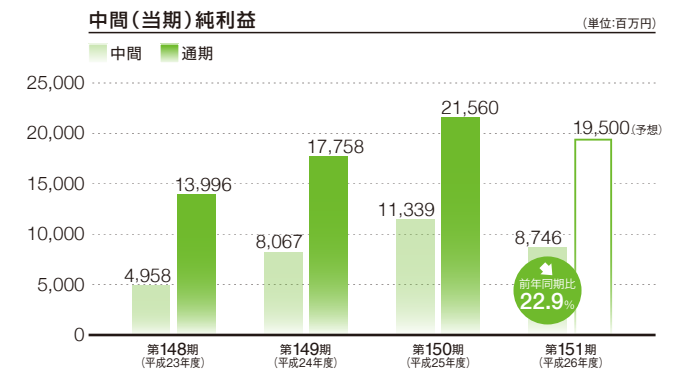
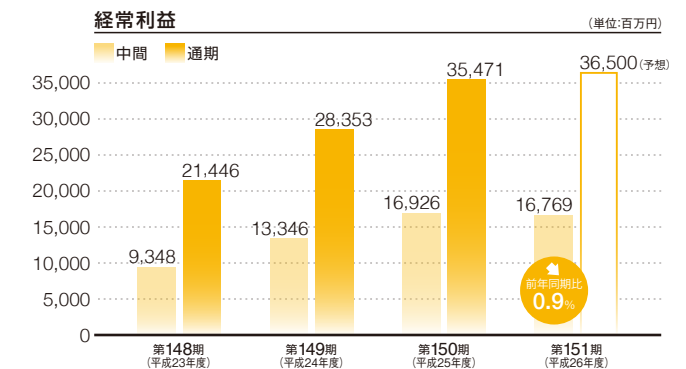
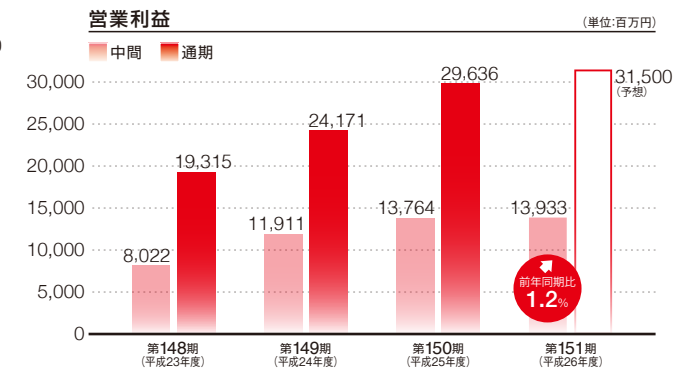
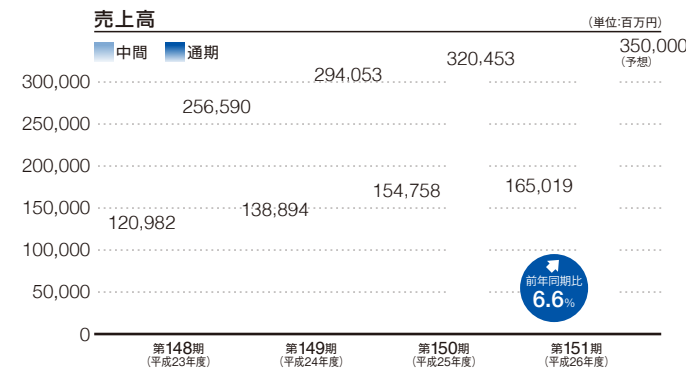
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
**石野 博**



### ■業績の推移(連結ベース)

	第148期(平成23年度)		第149期(平成24年度)		第150期(平成25年度)		第151期(平成26年度)	
	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期	通 期(予想)
売上高(百万円)	120,982	256,590	138,894	294,053	154,758	320,453	165,019	350,000
営業利益(百万円)	8,022	19,315	11,911	24,171	13,764	29,636	13,933	31,500
経常利益(百万円)	9,348	21,446	13,346	28,353	16,926	35,471	16,769	36,500
中間(当期)純利益(百万円)	4,958	13,996	8,067	17,758	11,339	21,560	8,746	19,500
配当金(円)	5	5	6	6	7	8	7.5	7.5



## 日本 Japan

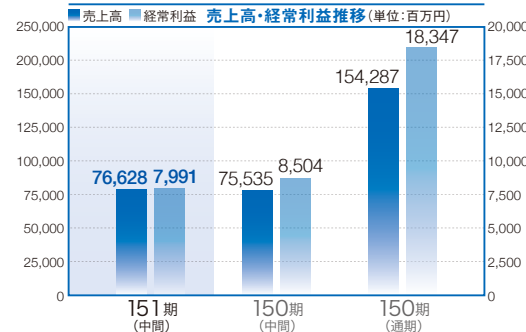
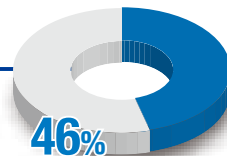
売上高

**766億28百万円** (前年同期比1.4%増)

**46%**

自動車新車用分野では、消費税増税の影響が懸念されましたが、自動車生産台数は前年を上回り、売上は伸長いたしました。工業分野及び船舶分野では、国内市場の回復基調もあり、僅かながら売上は伸長いたしました。一方、建築分野、防食分野及び自動車補修用分野では、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動、天候不順及び人手不足の影響等により市況が低迷し需要が落ち込みました。これらにより、当セグメント全体では売上は僅かな増加にとどまりました。また、原材料価格等の上昇があり、収益を圧迫しましたが、引き続きトータルコスト低減への取組を推進いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は766億28百万円(前年同期比1.4%増)、経常利益は79億91百万円(前年同期比6.0%減)となりました。



## インド India

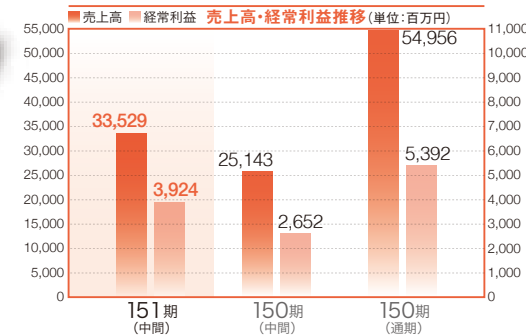
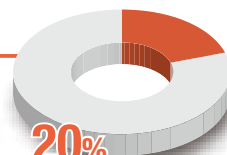
売上高

**335億29百万円** (前年同期比33.4%増)

**20%**

自動車分野では、国内自動車生産台数の緩やかな回復と、主要顧客の生産台数の増加もあり、売上は伸長いたしました。建築分野においては、新政権発足後国内経済の成長が進化したことにより、国内需要が活発化し、売上は大きく伸長いたしました。これらにより、利益も大きく増加し業績拡大が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は335億29百万円(前年同期比33.4%増)、経常利益は39億24百万円(前年同期比47.9%増)となりました。



## アジア Asia

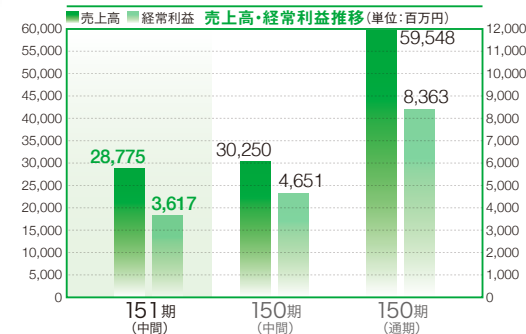
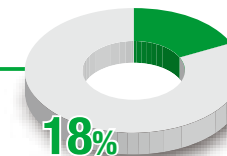
売上高

**287億75百万円** (前年同期比4.9%減)

**18%**

中国においては、自動車分野において、主要顧客向け需要が伸び悩んだものの、経済成長は依然として続き、売上は僅かに伸長いたしました。インドネシアにおいては、自動車生産台数の増加及び内需が堅調に推移したことにより、現地通貨ベースでの業績は拡大いたしました。為替換算の影響を受けました。タイにおいては、政治的混乱の影響により、昨年度後半から落ち込んだ自動車生産に回復の動きがみられず、業績を大きく押し下げました。なお、平成24年度に株式を取得したインドネシアの、PT.KANSAI PRAKARSA COATINGSののれんの償却を引き続き計上いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は287億75百万円(前年同期比4.9%減)、経常利益は36億17百万円(前年同期比22.2%減)となりました。



## アフリカ Africa

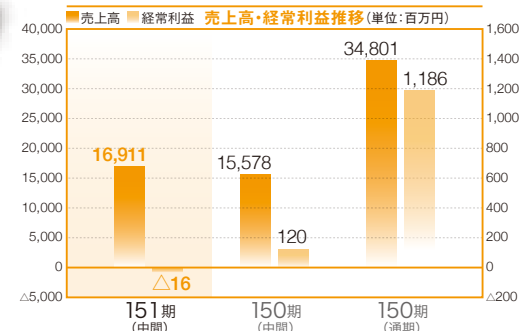
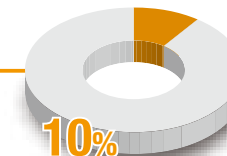
売上高

**169億11百万円** (前年同期比8.6%増)

**10%**

南アフリカ経済が低調に推移するなか、販売活動の促進に努めましたが、売上は伸び悩み、原材料価格高騰及び販売促進費投入等の影響が収益を圧迫しました。なお、平成25年7月に連結子会社化したジンバブエ共和国のASTRA INDUSTRIES LTD.の業績が、連結業績に寄与いたしました。また、平成23年度に株式を取得したKANSAI PLASCON AFRICA LTD.ののれんの償却を引き続き計上いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は169億11百万円(前年同期比8.6%増)、経常損失は16百万円(前年同期比 - %)となりました。



## その他 Others

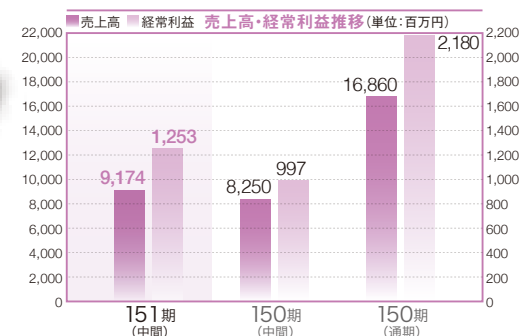
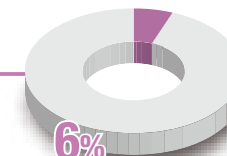
売上高

**91億74百万円** (前年同期比11.2%増)

**6%**

トルコでは、特に自動車分野において、主要顧客の増産に加え、新規需要の獲得もあり売上が伸長し、増収増益に寄与いたしました。また、北米における自動車生産台数は、堅調に推移したものの、持分法による投資利益は、僅かに減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は91億74百万円(前年同期比11.2%増)、経常利益は12億53百万円(前年同期比25.7%増)となりました。



☆当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成され、「日本」、「インド」、「アジア」及び「アフリカ」の4つを報告セグメントとしています。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、米国・欧州等の現地法人の事業活動を含んでいます。

■中間連結貸借対照表 [平成26年9月30日現在]

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	206,296	流動負債	89,691
現金及び預金	63,589	支払手形及び買掛金	56,247
受取手形及び売掛金	90,686	電子記録債務	781
たな卸資産	44,484	短期借入金	2,623
その他	8,436	関係会社短期借入金	2,080
貸倒引当金	△ 899	未払法人税等	4,041
		賞与引当金	4,299
		その他	19,617
固定資産	203,566	固定負債	53,926
有形固定資産	90,304	社債	15,000
無形固定資産	23,039	退職給付に係る負債	8,221
のれん	11,089	その他	30,705
その他	11,950	負債合計	143,618
投資その他の資産	90,222	純資産の部	
投資有価証券	70,856	株主資本	214,323
その他	21,645	資本金	25,658
貸倒引当金	△ 2,279	資本剰余金	27,154
資産合計	409,862	利益剰余金	166,493
		自己株式	△ 4,983
		その他の包括利益累計額	19,239
		その他有価証券評価差額金	26,097
		為替換算調整勘定	△ 8,511
		退職給付に係る調整累計額	1,653
		少数株主持分	32,682
		純資産合計	266,244
		負債純資産合計	409,862

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結損益計算書 [平成26年4月1日から平成26年9月30日まで]

(単位:百万円)

売上高	165,019
売上原価	115,049
売上総利益	49,969
販売費及び一般管理費	36,036
営業利益	13,933
営業外収益	3,493
営業外費用	657
経常利益	16,769
特別利益	55
特別損失	226
税金等調整前中間純利益	16,598
法人税等	5,736
少数株主損益調整前中間純利益	10,861
少数株主利益	2,115
中間純利益	8,746

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

[平成26年4月1日から平成26年9月30日まで] (単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	12,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 468
現金及び現金同等物の増減額	806
現金及び現金同等物の期首残高	56,816
現金及び現金同等物の中間期末残高	57,622

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

お近くへお立ち寄りの際はぜひご覧ください!



◀あべのハルカス(大阪市阿倍野区)

内部天井・壁：ビニデラックス300、ビニデラックス555、アレスエコクリーン

内部鉄扉：アレスネクストII

鉄骨さび止め：ラスゴンQDセーフティ

機械室鉄骨：エスコST

内部鉄部：セラMレタン

非常階段：エスコNBマイルドH、ユニテクト20セーフティ

旧館外壁：アレスアクアグロス

今年3月にグランドオープンした、日本一の高層ビル「あべのハルカス」で、当社の製品が様々な部分で採用されました。このビルは、日本一の売り場面積を誇る近鉄百貨店をはじめ、美術館、ホテル、展望フロアーなどがあり、来館された方々が、1日過ごす事ができる施設になっています。

地上300メートルの展望フロアーから大阪の地を眺められて、太閤さんの気分には浸ってみたいはいかがでしょうか?



## 「しっくい丸」ゆるキャラグランプリ2014に参戦!

当社の建築用塗料「アレスシックイ」のイメージキャラクター「しっくい丸」が、11月1日～3日に中部国際空港セントレア特設会場で開催された、ゆるキャラグランプリ2014に参戦し、企業部門第14位と大健闘いたしました。期間中はあいにくの空模様でしたが、当社展示ブースへは大勢の家族連れの方々にお越しいただきました。お子様には景品で用意した「しっくい



丸」ぬいぐるみが好評で、会場の話題となりました。また大人の来場者の方々は、当社係員が説明する「アレスシックイ」の機能・効能について熱心に耳を傾けていただきました。ご支援いただきました皆様方におかれましては、この場をお借りして御礼申し上げます。



## 「アレスシックイ」塗装体験イベント開催!



今年の9月23日に、神戸市内の六間道商店街で開催された商店街活性化イベントの中で、空き店舗の壁を使った「アレスシックイ」の塗装体験イベントを開催しました。地域の方々にアレスシックイの良さを体感頂きながらの塗装体験会でしたが、塗り上がったきれいな壁に皆さん満足されていました。また、会場にはゆるキャラ「しっくい丸」も登場し、子供たちとの交流を深めました。

## 柏市の小中学校へ塗料を提供しました!



当社グループのカンペカラーセンターが千葉県柏市で操業を開始いたしました。それに伴い地域貢献の一環として、同市内の小中学校へ塗料の無償提供を実施致しました。学校内の遊具等に教職員、保護者及び地域住民のボランティア活動により塗装されました。

子供たちの「学び舎」のリフレッシュにお役立ちできればと考えております。

マレーシア・ボルネオ島

## 「野生生物レスキューセンター」へ塗料を提供しました!

北海道旭川市にある旭山動物園では、「ボルネオへの恩返しプロジェクト」を実施しておられます。その活動の一環で、野生のボルネオ象を保護する「野生生物レスキューセンター」への塗装ボランティアを、旭山動物園スタッフと旭川塗装組合青年部が、現地の小学生を巻きおこないました。

このボランティアにあたり、当社グループでは塗料の提供という形で協力いたしました。慣れない手つきで刷毛を持つ子供達も笑顔いっぱいですがんばってくれました。ここで元気を取り戻したボルネオ象たちは、きっとまた元気に森を駆け回ってくれることでしょう。



## ご自宅の塗替は 関西ペイントにおまかせください

ご自宅の塗替をご検討の方、信頼と安心をお届けする当社にて、ご相談を承ります。皆様のお役に立てますことを、心よりお待ちしております。以下の<関西ペイント販売株式会社>各窓口までご用命ください。

東京 TEL(03)5711-8904 大阪 TEL(06)6203-7968

☆☆☆塗料 (Re:paint) に関する情報は、当社ホームページからご覧いただけます。



入力画面



入力後の  
次の画面

■会社概要

創 立 大正7年(1918年)5月17日  
 資 本 金 25,658百万円  
 主 要 な 事業内容 塗料及び塗料関連製品とこれらに関する機器装置類の製造、販売、設計及び塗装の監理等  
 従業員数 1,552名 (従業員数は就業人員であり、当社外への出向者を含んでおりません。)

■主要な事業所

本 店 兵庫県尼崎市神崎町33番1号  
 TEL(06)6499-4861  
 本社事務所 大阪府大阪市中央区今橋二丁目6番14号  
 TEL(06)6203-5531  
 事業所 鹿沼、東京、平塚、名古屋、尼崎、小野、北九州  
 開発センター 平塚

■役員及び執行役員 (平成26年9月30日現在)

取締役	
代表取締役社長 石野 博	取締役 常務執行役員 高橋 良多
代表取締役 専務執行役員 福田 光博	取締役 常務執行役員 神門 孝司
取締役 常務執行役員 太田 正信	取締役 常務執行役員 古川 秀範
取締役 常務執行役員 毛利 訓士	取締役(社外取締役) 中原 茂明
取締役 常務執行役員 田中 優	

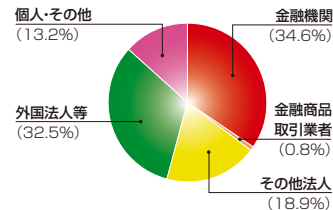
執行役員	
常務執行役員 近藤 明文	執行役員 浅妻 慎司
執行役員 長尾 博樹	執行役員 宮武 啓次
執行役員 青柳 彰	執行役員 寺岡 直人
執行役員 妹尾 潤	執行役員 堀 圭吾
執行役員 山内 明彦	執行役員 中尾 泰志
執行役員 吉田 一博	執行役員 中村 美博
執行役員 原川 浩美	執行役員 森本 隆司
執行役員 中野 佳成	

監査役	
常勤監査役 諏訪 博	監査役(社外監査役) 今村 峰夫
常勤監査役 前川 浩二	監査役(社外監査役) 宮崎 陽子

■株式の状況

発行可能株式総数 793,496,000株  
 発行済株式の総数 272,623,270株  
 株主数 13,326名

■所有者別株式分布状況



■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	12,490	4.67
第一生命保険株式会社	12,485	4.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,004	4.11
トヨタ自動車株式会社	8,355	3.12
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	7,788	2.91
大同生命保険株式会社	7,607	2.84
関西ペイント交友持株会	7,005	2.62
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	6,260	2.34
三菱UFJ信託銀行株式会社	6,163	2.30
東京海上日動火災保険株式会社	6,153	2.30

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。  
 2.持株比率は、自己株式(5,333,197株)を控除して算出しております。

■株価(終値平均)及び株式売買高の推移



(注) 株価及び株式売買高は、東京証券取引所におけるものです。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 剰余金の配当 期末 3月31日  
 中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 0120-094-777(通話料無料)  
 平日9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 公告掲載URL(<http://www.kansai.co.jp/>)

上場証券取引所 東京

ご注意

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、株主様の口座のある証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

中間配当金のお支払いについて

第151期中間配当金は平成26年12月2日からお支払いいたしますので、同封の「中間配当金領収証」により、最寄のゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行口座へ振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」を同封いたしましたので、お確かめください。なお、同封の「中間配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねておりますので、確定申告を行う際は、本計算書をその添付書類としてご使用いただけます。

単元未満株式の買取請求又は買増請求について

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有されている株主様は、これの買取請求(ご売却)または単元株式までの不足分の買増請求(ご購入)により、単元未満株式を整理することができます。詳細は、株主様の口座のある証券会社にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

ホームページの投資家情報 (IR情報) をご覧ください



各種資料を御覧頂けます

関西ペイント株式会社

<http://www.kansai.co.jp/>

この報告書は再生紙を使用しています。